

日本語

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
3910312	日本語聴解IA	2	1.0	1・2	春ABC	火4		関 裕子	大学の授業に必要な聴解能力のトレーニングを行う。聞いて理解できる語彙・表現を増やすとともに、テーマ、話の流れ、要点をつかむ力を身につける。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。受講人数制限あり。日本語聴解A修得済みの者は履修できない。オンライン(同時双方向型) 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910322	日本語聴解IIB	2	1.0	1・2	秋ABC	火4		関 裕子	大学の授業に必要な聴解能力のトレーニングを行う。聞いて理解できる語彙・表現を増やすとともに、話し手の意図を汲み取り、予測する力を身につける。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。受講人数制限あり。日本語聴解B修得済みの者は履修できない。オンライン(同時双方向型) 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910412	日本語読解IA	2	1.0	1・2	春ABC	月4		小野 正樹	大学の授業に必要な読解能力のトレーニングを行う。要約、キーワード抽出、同一テーマの記事探しを行った上で、参加者間で議論を行う。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。受講人数制限あり。日本語読解A修得済みの者は履修できない。オンライン(同時双方向型) 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910422	日本語読解IIB	2	1.0	1・2	秋ABC	月4		小野 正樹	大学の授業に必要な読解能力のトレーニングを行う。要約、キーワード抽出、同一テーマの記事探しを行った上で、参加者間で議論を行う。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。受講人数制限あり。日本語読解B修得済みの者は履修できない。オンライン(同時双方向型) 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910512	日本語作文IA	2	1.0	1・2	春ABC	木2		杉浦 千里	短作文練習と宿題のフィードバックと講義を通して、小論文の構成や表現を学び、作文力を身につける。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。受講人数制限あり。日本語作文A修得済みの者は履修できない。オンライン(同時双方向型) 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910522	日本語作文IIB	2	1.0	1・2	秋ABC	木2		杉浦 千里	短作文練習と宿題のフィードバックと講義を通して、レポートの構成や表現を学び、作文力を身につける。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。受講人数制限あり。日本語作文B修得済みの者は履修できない。オンライン(同時双方向型) 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910612	日本語演習IA	2	1.0	1・2	春ABC	水2		平形 裕紀子	大学生生活に必要な公の場における日本語でのコミュニケーション能力、基礎的な口頭発表能力を身につけることを目的とし、ディスカッション及びプレゼンテーションを重視したプロジェクトワークを行う。また、問題提起から問題解決に至る方法を協同的、自律的に学ぶ。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。受講人数制限あり。日本語演習A修得済みの者は履修できない。オンライン(同時双方向型) 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。
3910622	日本語演習IIB	2	1.0	1・2	秋ABC	水2		平形 裕紀子	大学生生活に必要な公の場における日本語でのコミュニケーション能力、やや抽象的な問題についての口頭発表及びレポート作成能力を身につけることを目的とし、ディスカッション及びプレゼンテーションを重視したプロジェクトワークを行う。	外国人留学生及び帰国生徒等が履修可能。受講人数制限あり。日本語演習B修得済みの者は履修できない。オンライン(同時双方向型) 詳細は授業内で、またはmanabaで周知する。

(注) 帰国生徒はグローバルコミュニケーション教育センター日本語教育部門長およびクラス担任が受講を認めた者。
また、学群特別聴講生で日本語レベル 7 以上の者も受講できる。ただし、必ず授業担当教員と相談して受講許可を得ること。

Japan-Expert(学士)プログラム

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
3920112	Japan-Expert日本語 中上級話す	2	2.0	1	秋ABC	集中			興味関心のある分野や専門分野について理由や説明を簡潔に話したり、討論したりすることができるようになる。インターンシップ時に必要な会話表現、待遇表現等も使えるようになる。さまざまな問題について、長所と短所、自分の意見が説明できるようにする。	Japan-Expert(学士)プログラム生が受講できる。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
3920122	Japan-Expert日本語 上級話す	2	2.0	1	秋ABC	集中			社会的な問題や専門分野について、論理的に説明し、議論ができるようになる。グループで発表・ディスカッションを行う際に他の人の意見に関連づけて自分の意見を述べ、より深い議論ができることを目指す。インターシップ時に的確な報告、待遇表現等ができるようになる。また、専門分野に関する口頭発表や質疑応答ができるようにする。	Japan-Expert(学士)プログラム生が受講できる。
3920212	Japan-Expert日本語 中上級聞く	2	2.0	1	秋ABC	集中			日常的だが、やや難易度の高い語彙や内容を含むトピックを用いる。アカデミックな場面の講義の聞き取りも扱う。大切な情報のメモ・要約・操作と、言の変化の理解、人間関係の把握、男女の言葉遣いの把握ができるようになることを目指す。	Japan-Expert(学士)プログラム生が受講できる。
3920222	Japan-Expert日本語 上級聞く	2	2.0	1	秋ABC	集中			やや専門的で広い範囲のトピックを用い、アカデミックな場面での講義の聞き取りができるようになる。推測を加えて話の流れを理解することができる、明示されていない話者の意図を理解する、音変化(難)を理解する、敬語などを手掛かりに人間関係(親疎関係、上下関係)を判断する、などができるようになることを目指す。	Japan-Expert(学士)プログラム生が受講できる。
3920312	Japan-Expert日本語 中上級読む	2	3.0	1	秋ABC	集中			意見文や論理的な文章の理解ができるようになることを目指す。学習者自身の専門分野の文献も扱い、さまざまなジャンルの文章を読み、グループによる話し合いを通して、読みの共有、意見交換を行う。	Japan-Expert(学士)プログラム生が受講できる。
3920322	Japan-Expert日本語 上級読む	2	3.0	1	秋ABC	集中			いろいろなタイプの文章を読み、各テキスト・タイプに特徴的な論理展開の形を理解する。文章の精読/速読を行う。学習者自身の専門分野の文献読解も行う。理解した内容にもとづいて、グループでディスカッションをし、話し合った内容をまとめて発表する。	Japan-Expert(学士)プログラム生が受講できる。
3920412	Japan-Expert日本語 中上級書く	2	2.0	1	秋ABC	集中			やや専門的な話題について、1000字程度の読み手にわかりやすい文章やレポートが書けるようになる。文章構成の型を使って、具体例を挙げたり引用したりしながら、順序立てて意見や報告が書けるようになる。適切な表現や語彙を用いて、説明文や意見文が書けるようになる。また待遇表現を用いたメールの書き方も学ぶ。	Japan-Expert(学士)プログラム生が受講できる。
3920422	Japan-Expert日本語 上級書く	2	2.0	1	秋ABC	集中			抽象的な事柄も含め、1500字程度のまとまりのある文章が書けるようになる。専門分野の論文の要約、報告論文の作成もできるようになる。読み手を意識して、論理的に一貫し、構成の整った文章を書く、根拠を挙げて意見を述べる、正しい構文で書く、などができるようになることを目指す。また待遇表現を用いたメールの書き方も学ぶ。	Japan-Expert(学士)プログラム生が受講できる。
3920512	Japan-Expert日本語 中上級文法	2	2.0	1	秋ABC	集中			入学前に学習している文法項目を復習し、中上級レベルの文法項目を学ぶ。語形の変化の多い表現を取り上げ、どのような状況でどう使い分けるのか、より詳しく学ぶ。	Japan-Expert(学士)プログラム生が受講できる。
3920522	Japan-Expert日本語 上級文法	2	2.0	1	秋ABC	集中			上級レベルの文法項目を学び、書きことば、話しことばに使われている高度な日本語を理解する。円滑なコミュニケーション活動を行うための日本語の語用論的特徴を理解する。	Japan-Expert(学士)プログラム生が受講できる。
3920612	Japan-Expert日本語 中上級漢字	2	2.0	1	秋ABC	集中			中上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、正確に運用できるようにする。学習者自身の専門分野の漢字語彙も扱う。学習者自身が自分の弱みに気づき、それを克服するための方法を工夫できるようにする。	Japan-Expert(学士)プログラム生が受講できる。
3920622	Japan-Expert日本語 上級漢字	2	2.0	1	秋ABC	集中			上級の漢字語彙の読み書きを覚えながら、正確に運用できるようにする。学習者自身の専門分野の漢字語彙も扱う。学習者自身の専門分野の本や論文、資料等から漢字および漢字語彙を抽出し、使えるようにするための方法を工夫できるようにする。	Japan-Expert(学士)プログラム生が受講できる。
3920712	Japan-Expert日本語 中上級総合日本語	2	1.0	1	秋ABC	集中		入山 美保	学類の授業を受講するために必要な日本語力やスキルを総合的に身につける。	Japan-Expert(学士)プログラム生が受講できる。
3920722	Japan-Expert日本語 上級総合日本語	2	1.0	1	秋ABC	集中		入山 美保	学類の授業を受講するために必要な日本語力やスキルを総合的に身につけ、日本語運用力を高める。	Japan-Expert(学士)プログラム生が受講できる。
3920812	Japan-Expert専門日本語 (アグロノミスト養成コース)	2	1.0	1	秋ABC	集中		中村 顕	日本語を総合的かつ集中的に習得する過程において、アグロノミスト養成コース担当教員から基礎的な知識、専門用語を習得することにより、農学に対する学習意欲を向上させ、今後の専門分野コースへの導入を行う。	Japan-Expert(学士)プログラム アグロノミスト養成コースの学生に限る。
3920822	Japan-Expert専門日本語 (ヘルスケアコース)	2	1.0	1	秋ABC	集中		福澤 利江子, 大宮 朋子, 徳田 克己, 水野 智美, 菅谷 智一, 山下 美智代, 安梅 勅江	日本語を総合的かつ集中的に習得する過程において、ヘルスケアコース担当教員から、基礎的な知識、専門用語、会話表現を習得することにより、日本語に対する学習意欲を向上させ、今後の専門分野コースへの導入を行う。	Japan-Expert(学士)プログラムヘルスケアコースの学生に限る。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
3920832	Japan-Expert専門日本語（日本芸術コース）	2	1.0	1	秋ABC	集中		水野 裕史, 大原 央聡	日本語を総合的かつ集中的に習得する過程において、日本芸術コース担当教員から、基礎的な知識、専門用語、会話表現を習得することにより、日本語に対する学習意欲を向上させ、今後の専門分野コースへの導入を行う。	Japan-Expert(学士)プログラム 日本芸術コースの学生に限る。
3920842	Japan-Expert専門日本語（日本語教師養成コース）	2	1.0	1	秋ABC	集中		入山 美保	日本語を総合的かつ集中的に習得する過程において、日本語教師養成コース担当教員から、基礎的な知識、専門用語を習得することにより、日本語に対する学習意欲を向上させ、今後の専門分野コースへの導入を行う。	Japan-Expert(学士)プログラム 日本語教師養成コースの学生に限る。
3920922	Japan-Expertキャリア支援日本語II	2	1.0	1 - 4	秋ABC	火5		山本 千波	日本人の社会観念、ステレオタイプ、会社での人間関係、雇用問題等を学び、現在の日本の状況と課題について、資料を読み解き、話し合うことができる力を身につける。	西暦偶数年度開講。